

CANVAS STEREO

DUAL LINE ISOLATOR & D.I.



あなたはアーティスト、あなたのサウンドが絵の具ならこれはキャンバスです。
Canvas Stereo ダイレクト・ボックス/ライン・アイソレーターはレコーディングからライブまで、いつでもあなたに役立つサウンドパレットになります。

DI (ダイレクト・インジェクション) - エレクトリックギター/ベース等のアンバランス、ハイ・インピーダンスソース接続時にはDIモードを選択してください。シグナルは-20dB (パッドオン時は-35dB) 低減され、バランス・シグナルに変換後XLRアウトプットから出力されます。ミキサーまたはプリアンプのゲインを使用して、シグナルをラインレベルに調整してください。

LI (ライン・アイソレーター) - Walrus Audio ACS1のようなアンプ+キャビネットシミュレーター、キーボード等のアンバランス、ロー・インピーダンスソース接続時にLIモードを選択してください。シグナルボリュームをそのまま保持しつつバランス・シグナルに変換後、XLRアウトプットから出力されます。LIモード選択時にはプリアンプのゲインは抑え目にしてください。

注: DIまたはLIモードの選択にあたっては使用機材の出力インピーダンスを確認してください。以下は一般的なガイドです。

ハイ・インピーダンス=1kΩ以上=DIモードを選択

ロー・インピーダンス=1kΩ未満=LIモードを選択

LIモード選択時に高域がこもっている場合には、DIモードが適切である可能性があります。

PAD - DIモード時に-15dB/パッドをオンにして、シグナルの歪みを防ぎます。

GND LIFT - アース・ループ等によりハムやノイズが出た場合に、このグランド・リフトをオンにしてください。通常はオフにしてください。

1/4in THRU SUM - オフ時には左インプットは左スルー、右インプットは右スルージャックへ接続されており、ステレオアンプの使用が可能です。オン時には左右スルージャックをサミングして一台のアンプへ接続できます。その際は左右どちらかのスルージャックを使用ください。

THRU - スルージャックからギターアンプや他のソースへ接続します。

XLR SUM - この機能を有効にすると、左 (L) および右 (R) のXLR出力が合成され、モノラルのバランス信号として出力されます。ミキサーやオーディオインターフェースにXLR入力が1つしかない場合に便利です。合成された信号は左のXLR出力から送られ、右のXLR出力は無効になります。

XLR PHASE (右のみ) - この機能は、右側のXLR出力の位相を左側に対して反転させます。ステレオ構成で発生する位相のずれによるフェイズキャンセルを修正するために使用します。 ※XLR SUM機能が有効な場合は右側のXLR出力が無効になるため、この設定は影響を及ぼしません。

WHEN TO USE THE CANVAS

Canvas Stereoを使用して、楽器をさまざまなソースに接続します。次の図は、いくつかの使用例です。

ヒント: 左右のジャックは独立しており、2つのモノラルソースを実行することもできます。

